

## 第 16 回 コミュニケーション教育研究会 議事録

日時：平成 20 年 11 月 27 日（木）16:40-18:30

場所：湘北短期大学 1 号館 128 教室

参加者：藤沢高校 佐藤 明宏先生；川崎総合科学高校 原 満先生；有馬高校 小林 久美子先生；  
湘北短期大学 岩崎、伊藤、藤澤、小棹（敬称略）

配布資料：

1. 第 15 回コミュニケーション教育研究会 議事録案
2. フォーラム内容
3. コミュニケーションリテラシーお願い状
4. アンケート回答（高大連携高あて）の分析
5. 「現場からみた大学図書館における利用教育実践の広がり可能性」図書館雑誌（2008.11）

議事：

1. 第 15 回コミュニケーション教育研究会の議事録を再確認、承認した。
2. 平成 20 年度（平成 21 年入学予定者対象）のコミュニケーションリテラシーの実施要領の確認
  - 案内は下記 3 とおりで行う
    - ① 学校長（学長名）、
    - ② 高大連携プログラム担当者（リベラルアーツセンター長名）、
    - ③ 生徒本人（リベラルアーツセンター長名）
  - 内容は昨年同様とするが、わかりやすいプログラムを作成する
  - 開講日：2 月 2 日、3 日、9 日、10 日とする（センター長が確認する）。  
高校は例年卒業式が 3 月 1 日なので、2 月末に予行を行うことが多い。  
高校入試は 1 月 27、28 日（前期選抜）、2 月 19、20 日（後期選抜）
3. 高大連携高あてアンケート回収結果 中間報告  
21 校、104 名からの回答結果をまとめた。  
とくに設問 C において、高い相関がみとめられた項目間は下記のとおり：  
能力として「不足」の意見が多かった項目間
  - 1-3 自分が嫌なことは実行しない ⇔ 1-9 忍耐力がない（我慢ができない）
  - 1-8 困難を乗り越えようと努力しない ⇔ 1-9 忍耐力がない（我慢ができない）
  - 1-11 問題点を見つけようとしめない ⇔ 1-12 課題を明確にすることができない ⇔  
問題解決の手順や方法を考えられない
  - ポイントを整理してから話をしない ⇔ 1-18 順序立てて話ができない
 能力として「比較的良い」の意見が多かった項目間
  - 1-19 相手の立場を考えて話ができない ⇔ 1-20 自分の考え方、やり方に固執する
  - 1-15 新しい発想ができない ⇔ 1-16 異なる面から考えることができない
  - 1-21 他人の意見ややり方に聴く耳をもたない ⇔ 1-22 グループの中で、自分の役割や使命が自覚できない ⇔ 1-23 社会のルールやマナーを守れない ⇔ 1-24 約束ごとや時間を守れない
4. 平成 20 年 2・3 月実施のコミュニケーションリテラシーの検証  
12 月に全学対象のアンケートを実施する。

次回開催予定

平成 20 年度第 6 回（第 16 回） 平成 21 年 1 月 20 日（火） 16:40～18:30  
湘北短期大学 128 教室

議題： フォーラム内容決定  
コミュニケーションリテラシー開講前確認

以上